

2024年10月31日

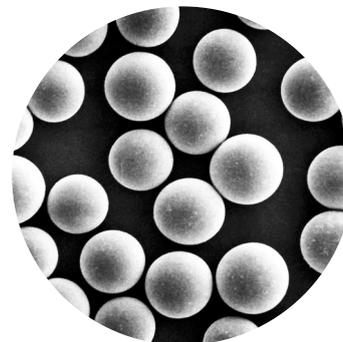
積水化成成品工業株式会社（本社：大阪市北区西天満2-4-4 社長：柏原正人）は、LED光拡散用途のポリマー微粒子「テクポリマー」を、新たに自動車のライティング用途へ展開を進めています。

ポリマー微粒子「テクポリマー」 新たに自動車のライティング用途へ展開

1. 概要

ポリマー微粒子「テクポリマー」は、重合性モノマーをベースにした微粒子です。その特性を活かして、樹脂フィルム・成形品への光拡散性や、塗料・インク分野の艶消し・耐擦傷性、化粧品分野の滑り性付与など、さまざまな用途の添加剤として利用されています。

これまで「テクポリマー」は、液晶ディスプレイ・LED照明・塗料・化粧品への添加剤用途が中心でしたが、このたび、自動車の室内照明や走行灯などに採用され、自動車ライティング向け需要が拡大しています。



テクポリマー
(電子顕微鏡写真)

2. 特長

LED照明の進化とともに、アンビエントライト（室内間接照明）が高級車に採用されはじめ、近年ではEV普及によって先進性の訴求を目的に、車内全体を取り巻くようなアンビエントライトが増加しています。また、自動車のデイトタイムランニングライト（昼間走行灯）は、周囲からの被視認性を高め、交通事故を防止する目的で、欧州ではすでに義務化され、日本国内でも採用車種が増えています。

透明性の高い照明カバー部材（ポリカーボネート樹脂など）に「テクポリマー」を添加することで、LEDの光を均一に拡散させています。LEDの光を均一に拡散し、かつ眩しすぎないという要求性能に対して、光拡散性と透過率を最適化できる「テクポリマー」が高く評価されています。

※写真は各用途のイメージであり、採用された特定車種を示すものではありません。



アンビエントライト（室内間接照明）



デイトタイムランニングライト

3. 今後の展開

積水化成成品は、さまざまな微粒子技術を複合化した「オンリーワンのカスタマイズ対応」による各種材料の機能性向上を強みとしており、「テクポリマー」は、お客さまの新たな用途開発の一端を担っています。今後も革新的な技術と独創的な製品を創造し、企業価値を高めるとともに、自動車業界を含めた各種産業の発展に貢献していきます。

以上